

# 学園創立記念日に寄せて

平成30年5月1日(火)

佐野日本大学中等教育学校

〔はじめに〕

5月1日は創立54周年の記念日です。本学園54年の過去を振り返り、改めて将来を見つめ直して  
みることは大変意義のあることと思います。

昭和39年当時、この地区には、佐野高校、佐野女子高校、青藍泰斗(旧葛生高校)、清澄高校があり  
ました。しかし、この学校数では、高校教育を受けたくても受けられない生徒が多数いるという状態  
であり、生徒一人ひとりの個性や能力を啓発し、伸ばしていく場が必要でした。そのような地域社会の  
要請を受けて、本学園の佐野日本大学高等学校は、日本大学の附属高校として誕生しました。このこ  
とによって、大学までの道が一気に開け、地域社会の多くの人々に、新しい夢や希望を与えることになり  
ました。しかし草創の頃は、決して順風満帆とはいえず、苦難の日々が続きました。校舎もグラウンドも  
学校といえる状態ではありませんでした。プレハブの校舎に石ころだらけのグラウンド…、その一つ一つ  
を教職員、生徒がPTA、地域社会の人々と一体となって、学園造りに励んだのです。そうした努力の  
足跡が、今、「生徒一人ひとりを大切に、希望する進路を実現する」教育として実ってきているので  
す。創立の日に、本学園の原点に思いをいたし、原点に戻り、現在の自分を見つめ直し、より良き将来  
への起点としたいものです。

## 1. 日本大学の歩み

- ・明治22年10月4日創立 日本法律学校と称す
- ・明治36年8月 日本大学と改称
- ・大正9年3月 「大学令」による大学となる
- ・昭和24年4月 「建学の主旨および綱領」を改定、「目的および使命」を制定
- ・昭和34年9月 「目的および使命」を改正
- ・昭和45年～ ワシントン州立大学との学生交換協定の締結を皮切りに、ケブリッジ大学、北  
京大学をはじめとする31か国1地域123の大学や教育機関と学術交流協  
定等を結ぶ
- ・昭和54年9月 「顕義園」を山口県萩市に開設。「顕義」とは学祖の名を表す
- ・昭和57年6月 日本大学会館落成(日本大学本部)
- ・平成元年10月 創立百周年記念式典・祝賀会を挙行。天皇・皇后両陛下の行幸啓を仰ぐ。
- ・平成28年4月 危機管理学部・スポーツ科学部設置

## 2. 学祖 山田 顕義(やまだ あきよし) 1844～1892

- ・山口県萩市に生まれる。
- ・14歳で松下村塾に入門、吉田松陰に師事。
- ・明治4年岩倉具視を全権大使とする使節団の一員としてフランスを訪問、「ナポレオン法典」に  
出会い、「法律は軍事に優先する」と確信、以後法律研究に没頭。
- ・明治16年～24年、第一次伊藤・黒田・第一次山県・第一次松方内閣の司法大臣を歴任し、近  
代国家の骨格となる明治の諸法典の編纂にあたる。
- ・明治22年には、近代法治国家としての日本再建を目指し、日本法律学校を創立。次代を展望し  
て青年の教育にあたる。
- ・明治25年没。

〔学祖の精神〕

国風をもって礎となし、西欧の進歩を採択して、日本固有の法を研究教育し学人をして、実学  
の徒たらしむ。

〔日本大学の目的及び使命〕

日本大学は日本精神に基づき 道統をたつとび 憲章に従い 自主創造の気風をやしない  
文化の進展をはかり 世界平和と人類の福祉とに寄与することを目的とする日本大学は 広  
く知識を世界に求めて 深遠な学術を研究し 心身共に健全な文化人を育成することを使命  
とする

※学祖の精神は、時代を超えて、今日尚その価値を失わないものである。⇨国際化時代

## 3. 学長 第13代 大塚 吉兵衛(おおつか きちべえ)

## 4. 日本大学将来への展望

- 現在16学部87学科・短期大学部5学科を擁する総合大学。附属高校は全国に25校、  
附属中等教育学校は2校。
- 人の和を基本に「世界の日本大学」を目指す。(日本大学=研究大学)
- 日本文化をリードし、21世紀にはばたく中枢的人材を養成し、ハーバードやケンブリッジ等  
とかなを並べる世界の一流大学を目指す。
- 世界に信頼される国家、尊敬される民族になろう。

5. 佐野日本大学学園の歩み

- ・昭和39年5月 佐野日本大学高等学校創立。 ・平成16年10月 創立40周年式典
- ・昭和63年4月 佐野日本大学中学校開校。 ・平成18年4月 文科省よりSSH指定
- ・平成2年4月 佐野女子短期大学開学。 ・平成19年10月 中学創立20周年式典
- ・平成5年5月 創立30周年。 ・平成22年3月 中学校閉校
- ・平成5年11月 創立30周年記念式典。 ・平成22年4月 佐野日本大学中等教育学校開校
- ・平成14年4月 佐野短期大学に校名変更。 ・平成25年4月 佐野日本大学中等教育学校完成年度
- ・平成16年5月 創立40周年。 ・平成26年5月 創立50周年
- ・平成26年10月 創立50周年式典
- ・平成29年3月 ユネスコスクール認定式

6. 校訓

- ①自主創造 物事に主体的に取り組み、よき人生、よき社会、よき国家、よき世界の創造者となろう
- ②文武両道 しっかりした学問を身につけ、人格を陶冶し・・・ [文]  
健康な身体をつくり、社会に貢献する・・・ [武]
- ③師弟同行 「師」「弟」共に謙虚に学び合い、心身共に成長してゆこう。・・・吉田松陰の教育姿勢

7. 中等教育学校の目指す教育

- ①磨こう心 自主創造の精神を涵養する  
体験的な学習による豊かな人間性を醸成する  
セルフコントロール能力を育成する  
体力の向上と健康の保持増進を図る
- ②輝く知性 地球市民としての国際感覚とコミュニケーション能力を養成する  
豊かな教養と文化的な素養の育成を目指す  
情報活用能力の向上を図る  
多様な進路実現のための学習の養成を目指す
- ③拓こう未来 充実したキャリア教育と学習指導による希望進路の実現を目指す  
各界で活躍できるリーダー、パイオニアの育成を図る  
社会人力(Action・Thinking・Teamwork)を養成する

8. 中等教育学校(第1～5期生) 大学合格実績 ○内は東大合格者数

	[日本大学]	[日本大学以外の大学 ※短大含む]	[国公立大]
・平成29年	42名	81名(内 短大 3名)	21名 ①
・平成28年	49名	159名(内 短大 2名)	23名
・平成27年	51名	143名(内 短大 1名)	30名
・平成26年	52名	117名(内 短大 2名)	26名
・平成25年	61名	106名(内 短大 2名)	14名

\*高等学校(中学校出身者)大学合格実績 ○内は東大合格者数

	[日本大学]	[日本大学以外の大学 ※短大含む]	[国公立大]
・平成24年	43名	76名(内 短大 2名)	16名 ①
・平成23年	43名	73名(内 短大 1名)	24名 ①
・平成22年	29名	69名(内 短大 3名)	6名

9. 本学園生徒に期待すること

- ①文武に励み、人間としての生き方や、自己の可能性を追求する。
- ②自己をしっかり見つめ、自己の進路を的確に把握する。
- ③学ぶことへの気力や情熱を大切に、積み重ねる努力による学習に努め、本校入学の目的を達成し、よりよい人生の基礎をつくる。
- ④先生方に自主的に指導を仰ぎ、学力や人生観等を深める。
- ⑤初心を忘れず、初心に返り、生活をする。
- ⑥規則正しい生活をすることによって、日々の生活の根をしっかりとつくる。
- ⑦常に集団の一員としての自覚を持った言動をとる。

10. 卒業生数 480名(第1～5期生) 2,275名(平成21年度までの中学校の卒業生数)